

令和2年度 家庭の教育力に関する調査結果

～令和3年2月実施

・・・デジタル機器の所持と利用についての実態・・・

市内の保育園・幼稚園に在席する年長児の保護者を対象に、右の項目について調査を実施しました。

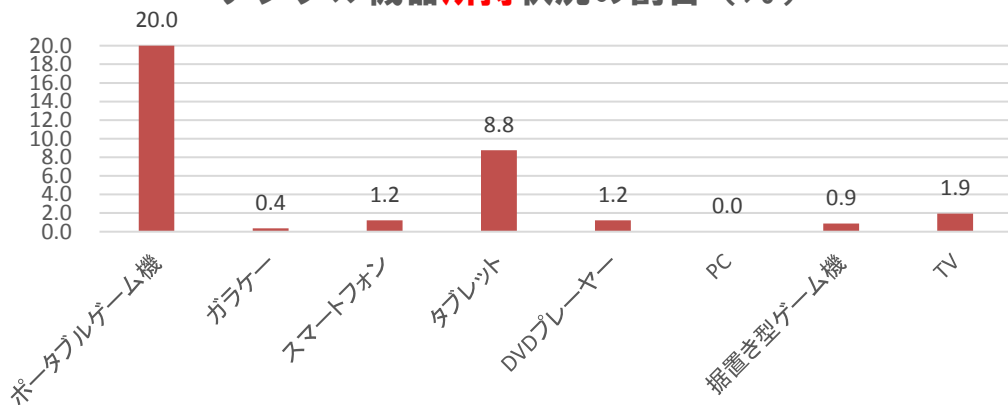
43園、約84%の保護者から回答が届き、以下のような結果となりました。

<調査項目>

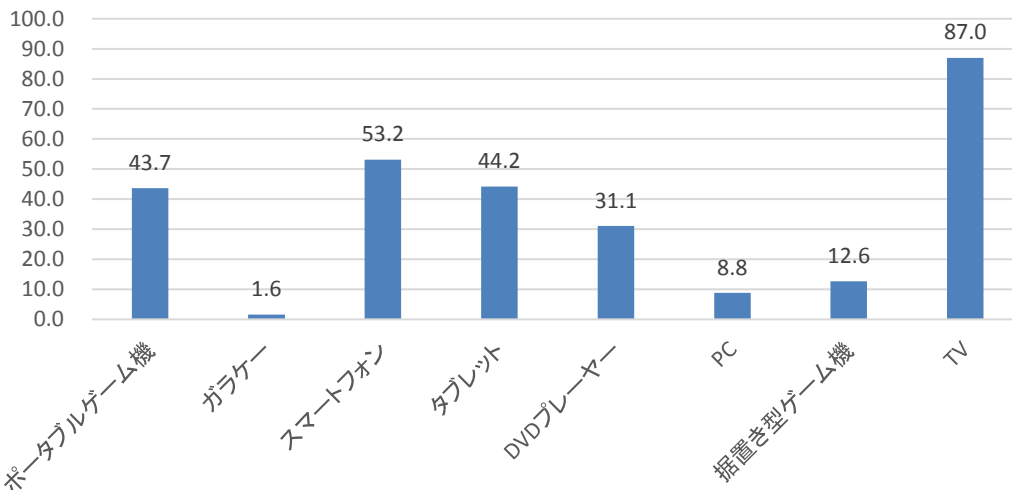
- 1 お子さんはデジタル機器を使用していますか。
- 2 お子さんの持っているデジタル機器とお子さんが使用しているデジタル機器について所持と使用
 - 【1】ポータブルゲーム機（DSシリーズ、PSP）
 - 【2】ガラケー
 - 【3】スマートフォン
 - 【4】タブレット
 - 【5】DVDプレーヤー
 - 【6】パソコン
 - 【7】据置型ゲーム機
 - 【8】テレビ
- 3 平日と休日のデジタル機器の使用時間
- 4 お子さんの使用状況からよいことや困っていること（記述）

デジタル機器を使用している子ども 94.0% デジタル機器を使用していない子ども 6.0%

デジタル機器所持状況の割合（%）



デジタル機器使用状況の割合（%）



デジタル機器を使用している子どもの使用時間平均 平日約 81分 休日 約153分

※昨年度のデジタル機器を使用している子どもの使用時間平均 平日 約34分 休日 約73分

★ 回答結果から ★

- ①新型コロナウイルス感染症対策により、家で過ごす時間が増えたため、デジタル機器の使用時間が前年度より増えていることがうかがえる。
- ②デジタル機器について、時間を決めて使用するよう家庭内でルールを決めている家庭が大半だが、いざ終わりの時間になると使用をなかなかやめられない実態もあり、ルールについて悩んでいる家庭もある。
- ③就学前教育施設による保護者や園児へのメディア利用についての働きかけの状況によって、使用時間に大きな差がある。
- ④幼児向けの動画（歌、ダンス、折り紙等）はいいのだが、操作を覚え、まだ見てほしくない動画を見ている場合があり、管理が難しいと感じている家庭もある。
- ⑤保護者と一緒にメディアを使用して一緒に疑問を調べることができる環境や子が親に見て覚えたことを伝えることで、知的好奇心を刺激したり親子の会話が広がったりしているよさもある。
- ⑥使用について主な肯定的な見方
- ・ひらがなやカタカナ、漢字などの文字や言葉を覚えるのに役立っている。
 - ・使用のルールを守ることで、決まりを守ることを覚えられる。
 - ・家族のだんらんの機会となっている。（親、兄弟）
 - ・家事、病院等の待ち時間等静かに待っていてくれる。
 - ・興味を持った事柄について、検索して調べたり、動画などを参考に工作を楽しんだりできるのはよい。
 - ・これからの子どもたちには、デジタル機器に慣れることは必要だと感じる。
- ⑦課題と感じている主な見方
- ・気が付くとデジタル機器と目の距離が近く、視力に影響がないか心配である。
 - ・動画やゲームに夢中になると話かけても気づかない。
 - ・長時間デジタル機器を使用する時間が増えると、やめるよう注意すると不機嫌になり、機器を取り上げると怒る。
 - ・機器の使用に慣れることはいいのだが、勝手に買い物をしたり課金をしていたことがあり焦った経験がある。
 - ・真似してほしくない言葉を覚えて使うことがある。